

認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 133号 (R4.9.2)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 9月となりました。朝夕、秋の気配が感じられるようになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

まだ日本ではコロナ感染者数も多い状況が続いていますね。基本の感染対策を適切に実施していきましょうね。

さて、今回の ORMZ ニュースでは、現地ザンビアでの巡回診療の実施状況、現地の様子、そして残念ですが現地スタッフの不正発覚に対する対応概要をお伝えします。

皆様には引き続きご支援のほどよろしく申し上げます。

現地活動報告【巡回診療】 (山本ひとみ)

7月20日 リテタ 診療数 96名 内マラリア陽性数 11名

- ・主な訴え、疾患等：疥癬、赤痢、せき、下痢
- ・重症例：10歳の女兒、右足首骨折の疑い。レントゲン検査のためチョングエ病院に紹介

7月29日 ニャンカンガ 診療数 118名 内マラリア陽性数 6名

- ・主な訴え、疾患等：せき、腹痛、下痢、頭部浅在性白癬
- ・重症例：なし
- ・5歳未満の児童 25人が予防接種を受けた
- ・疥癬患者 1名

8月4日 ルアノ 診療数 75名、内マラリア陽性数 7名

- ・主な訴え、疾患等：せき、下痢、結膜炎、疥癬、腰痛、虫歯
- ・重症例：なし
- ・チペンビクリニックのスタッフの参加できなかったため、予防接種、コロナのワクチン接種は行われなかった
- ・道中、マンゴマーケットで患者が待っており、疥癬患者もいた

8月10日 サンダラ 診療数 58名 マラリア陽性数 8名

- ・主な訴え、疾患等：せき、疥癬、下痢
- ・重症例：なし

8月17日 リテタ 診療数 118名 マラリア陽性数 7名

- ・主な訴え、疾患等：下痢、疥癬、結膜炎、赤痢
- ・重症例：5か月の男児、疥癬に合併した細菌感染症。ムルングシ・クリニックに紹介
- ・退職した看護師、ニョニさんが5歳児未満の児童 16人の予防接種を行った。ワクチンはポリオ、破傷風、三種混合ワクチン。ワクチンはチペンビクリニックから提供を受けた。麻疹、BCG のワクチンはなし。
- ・ハムサレさんにより HIV 検査をしてもらった。リテタで HIV 検査を行うのは初めて。ハムサレさんは検査キットをチペンビクリニックから受け取っている。

風景比較① 通り道



1月7日

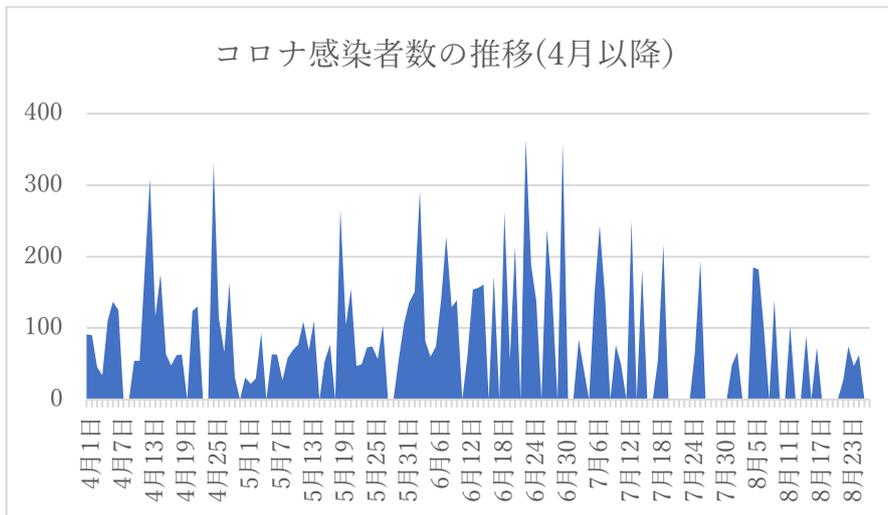


8月5日

雨期（1月）と乾期（8月）では周りの風景が全く変わります。

ザンビアの新型コロナウイルス感染症等の状況

・8月は、一日当たり30人から200人くらいの感染者数となっています。1月頃に比べると少なくなっていますが、報告されない日があるため、今後とも動向に注意が必要と考えています。



*8月の報告数

2日 66人、
6日 182人、
12日 103人、
15日 89人、
22日 27人、
25日 62人

ザンビア現地こぼれ話（山本ひとみ）

髪型について

男性編：ザンビアの男性の多くは、丸坊主。丸坊主の中でもいろいろなスタイルがあり、ポテトカットなど、それぞれの年で流行りもあるとか。バーバーショップには、髪型のポスターが貼られている。ひげはそり落とさず、口ひげ・あごひげをはやしている人は多い。

女性編：強いくせ毛の人が多く、女性も髪の毛を長く伸ばしている人はほとんどいない。ぱっとみて、ロングヘアの人もあるじゃん！と思うかもしれませんが、ロングヘアの人のほとんどは「エクステンション」です。長時間かけて、長い細かい編み込みをする人、ボリュームのあるエクステンションをして、メデューサのような髪型の人、どうやって寝るんだ？と思うような髪型の人も。



現地スタッフによる不正発覚への対応について

巡回診療は、場所や時期によって2台の車で実施しています。そのためレンタカーを1台借ります。今回、運転手2人と準医師1人の3人がレンタカーを借りずに、そのレンタカー代と燃料代を着用していた疑いがでてきました。巡回診療活動をしている関係者の話から発覚しました。

3人に確認したところ否定されましたが、レンタカー会社の電話番号に連絡しても全く通じません。

第3者に入ってもらった方がいいと考え、現地のコンサルタントに調査・聞き取りをしてもらうこととしました。

その結果、7月20日のリテタでの活動にはレンタカーを借りていないことを認め、それ以外の日は否定されました。否定はしているものの話に矛盾があり、答えられない、話をそらす発言も多くありました。

そのため、臨時の理事会を開催し、以下の対応をとることとしました。

①7月20日分のレンタカー代とディーゼル代の払い戻しを求め、責任がある立場であった1人は解雇、2人は活動継続への影響等を考え、警告書を出す。ただし、契約は更新しないこととする。

②不正により受けた損害については、確認できた日分のみ請求するものとする。本人たちが認めていない過去分について請求する場合、本人たちが不正を認めていないため、警察に訴え、裁判を起こす必要があります、その請求を行うことに伴う労力（証拠収集など）、時間（1年以上かかる可能性がある）、費用（弁護士・調査費用など）等を考慮し請求しないものとする。

今回このような不正が認められたことを深く反省しています。今後このようなことが起きないように、人事を一新して、活動を継続していく予定ですが、一部の活動に影響が出る可能性もあります。支援いただいている皆様にはお詫びしますと共に、今回の対応についてご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2022事業年（1月から12月）も9月となりました。
- ・皆様には、賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしくお願いいたします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九 口座記号：01720-9 口座番号：0126351

加入者名： NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

令和4年（2022年）も多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。